

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|---|--|------------------|----------------|-------------------|
| 介護総合演習 I Care Practice Support I | | 1年 | 前期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 1単位 | 演習 | 選択 | (介護福祉士養成課程 必修) | 介護福祉士養成課程の学生のみ履修可 |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 久保 由佳 | 福祉棟2F | 月～金 (授業時間を除く) | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| 介護実習に必要な基本的な専門知識について学び、施設生活や在宅生活の流れの中で、利用者を実践的に捉え理解する。また、各授業で学習している知識・技術を具体的かつ実践的に結びつけ、介護の場の理解につなげる。さらに、記録することの意義と必要性を理解し、具体的な記録方法について学ぶ。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①介護実習に必要な知識を習得し、実習の意義と目的を明確にできるようにする。 ②居宅・通所・入所等の介護サービス内容と利用者像を述べられるようにする。 ③援助者としての心構えができ、社会的マナーを実践できるようにする。 ④実習記録の意義と目的を説明でき、適切に記録ができるようにする。 ⑤他科目の学習内容を関連づけながら、実習に向けての準備ができるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 講義・演習・視聴覚教材の活用・グループワーク・指定図書等の講読等、多様な形態である。 実習記録については演習と個別指導を取り入れる。 | | | | |
| 学習の成果(学習成果) | | | | |
| ①介護実習の意義と目的を明確にし、実習をイメージすることができる。 ②実習先となる生活の場の特徴や利用者の暮らしを述べることができる。 ③実習生としてマナーある行動ができる。 ④記録の意義や重要性を理解した上で、実習記録を適切に書くことができる。 ⑤各授業で学習した内容を結びつけ、基礎実習 I に向けた自己の目標や課題を明確にすることができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 見学実習(介護老人福祉施設「大栗の里」)後のグループワーク 【レポート1: 見学実習で学んだことおよび感想、提出は次回授業時。】 | | | |
| 第2回目 | 見学実習(介護老人福祉施設「大栗の里」)の発表・まとめ | | | |
| 第3回目 | 介護実習の意義と目的、視聴覚教材による介護実習の理解 【レポート2: VTRを視聴した感想・学び、提出期限は授業で指示する。】 | | | |
| 第4回目 | 実習の準備(実習形態と方法、実習の流れ、必要書類、オリエンテーション等)、「介護実習の手引き」配布 【レポート3: 「介護っていいなあ!」を講読した感想・学び、提出期限は授業で指示する。】 | | | |
| 第5回目 | 実習先施設の理解① 指定介護老人福祉施設を中心とした生活の場の理解 | | | |
| 第6回目 | 実習先施設の理解② 介護老人保健施設、通所施設、障害者支援施設等 【レポート4: 対比表の作成、提出期限は授業で指示する。】 | | | |

| | | | |
|---|--|-----|---|
| 第7回目 | 基礎実習 I の準備(実習先希望調査票配布、施設情報一覧の見方) | | |
| 第8回目 | 実習時のマナー① 身だしなみ・言葉遣い等(社会的マナー含む) | | |
| 第9回目 | 実習時のマナー② 「ほう・れん・そう・かく」、電話のかけ方 | | |
| 第10回目 | 実習時のマナー③ 御礼状の書き方 基礎実習 I の準備(実習関係書類の書き方) | | |
| 第11回目 | 実習記録① 記録の必要性とその方法(「実習の手引き」に沿って説明) | | |
| 第12回目 | 実習記録② 具体的な記録の方法 基礎実習 I の準備(誓約書記入、「課題と抱負」用紙配布・説明) | | |
| 第13回目 | 実習記録③ 実習日誌の記録方法 【レポート5: 実習日誌の書き方演習、提出期限は授業で指示する。】 | | |
| 第14回目 | 実習記録④ 実習日誌の書き方(個別指導) 基礎実習 I の準備(検便容器配布・説明) | | |
| 第15回目 | 基礎実習 I の準備(実習記録一式配布)、授業のまとめ *基礎実習 I オリエンテーションおよび反省会は別日程にて実施 | | |
| 成績評価の方法と基準 | | | |
| | 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
| 授業参加態度 | | 50% | S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことをノートにとっている。③課題等の提出期限を守っている。④グループワーク時、自分の考えを述べている。 |
| レポート | | 50% | Sのレポートは、課題のテーマに沿って学び・気づきが具体的に記述されていること。自分の考えがまとめられていること。 |
| 調査報告書 | | | |
| 小テスト | | | |
| 試験 | | | |
| 発表内容(態度含む) | | | |
| その他 | | | |
| 教科書と参考図書 | | | |
| 新・介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 福祉小六法 介護実習の手引き | | | |
| 履修上の留意点・ルール | | | |
| 他科目と関連させながら、介護実習のイメージを具体化し、現場の理解に努めてほしい。実習関係書類は提出期限を厳守すること。「介護実習の手引き」は毎回持参すること。飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机の上に置かない。やむを得ず欠席した場合には、速やかに届け出を提出すること。 | | | |